

令和7年4月 教育委員会定例会

期 日	令和7年4月10日(木)	
	開 議	10時10分
場 所		教育委員会室
出席状況		
委 員	澤崎秀之 教育長	出席 <input type="checkbox"/>
	岩坂昭宏 職務代理者	欠席 <input type="checkbox"/>
	岡川聖代 委員	出席 <input type="checkbox"/>
	伊東知之 委員	欠席 <input type="checkbox"/>
	坂多佳子 委員	出席 <input type="checkbox"/>
事務局	黒田千華 局長	出席 <input type="checkbox"/>
	小嶋雅則 理事	欠席 <input type="checkbox"/>
	田中昇 理事	出席 <input type="checkbox"/>
	林亜希子 教育振興課長	欠席 <input type="checkbox"/>
	中屋利康 学校教育課長	出席 <input type="checkbox"/>
	武藤加代子 生涯学習・文化財課長	欠席 <input type="checkbox"/>
	北川智士 図書館長	出席 <input type="checkbox"/>
	齋藤秀一 文化財保護室長	欠席 <input type="checkbox"/>
	林憲司 市史編さん室長	出席 <input type="checkbox"/>
	須磨紀美子 課長	欠席 <input type="checkbox"/>
	倉橋和代 市民福祉部理事(関係者)	出席 <input type="checkbox"/> 欠席 <input type="checkbox"/>
	間所千亜喜 政策推進幹	出席 <input type="checkbox"/>
	嶋川香住 教育振興課副課長(書記)	出席 <input type="checkbox"/>
	牧田聰 学校教育課副課長(書記)	出席 <input type="checkbox"/>

令和7年4月 越前市教育委員会定例会(概要)

【令和7年4月10日(木曜日)開会時刻 午前10時10分】

【議事】

日程第1 会議録署名員の指名

(教育長の事務の状況の報告)

日程第2 越前市教育委員会教育長に対する委任規則等の一部改正等について

日程第3 越前市結核対策委員会委員の委嘱について

日程第4 越前市公民館長の任命について

日程第5 令和7年3月越前市議会定例会質疑及び一般質問の概要について

日程第6 各課の事務の報告について

(その他)

日程第7 次期教育委員会定例会の日程について

日程第8 市町村教育委員会研究協議会の案内について

日程第9 その他

傍聴人 なし

【会議の主な経過】

日程第1 会議録署名員の指名

岩坂昭宏教育長職務代理者を指名した。

(教育長の事務の状況の報告)

日程第2 越前市教育委員会教育長に対する委任規則等の一部改正等について

【林教育振興課長が説明】

(質疑)

岩坂教育長職務代理者 公会堂記念館の館長副課長について、副館長を置かないのであれば、館長に事故があったときには誰が対応することになるのか。

武藤生涯学習・文化財課長 公会堂記念館の館長は、現在文化県都推進課長が担っているので、何かあった場合には文化県都推進課の副課長が対応することになる。

澤崎教育長 今この規則で運用しようと思うと、文化県都推進課長が公会堂記念館長を担うという理屈はどこにあるのか。市長事務部局総務部市民活躍推進監が文化県都推進課長に、命ずることができるのか。

林教育委振興課長 市長部局の方で文化県都推進課が補助執行しその事務を担うことは、こちらの規則でも謳われているし、市長部局の方の規則でも謳われている。教育委員会での規則の書きぶりとしては、市長事務部局総務部市民活躍推進監に補助執行させるという表現になるが、市長部局の事務分掌を定める規則で文化県都推進課が公会堂記念館の担当となっている。

岩坂教育長職務代理者 教育委員会と市長部局と両方を合わせて見ないと読みづらいところもあることが分かった。教育委員会と市長部局とがあって、規則に補助執行という言葉をちりばめないといけない実態から行政というのはとても難しいことが分かった。市長部局との橋渡しが難しいのではないかと思うが、どうか。

田中教育委員会事務局理事 総務部理事と教育委員会理事2つを兼務している。教育委員会が市長部局に補助執行させる部分の橋渡しを潤滑油となるよう最善を尽くして執行していく。

岩坂教育長職務代理者 大いに期待するが負担もなかなかあるのではないか心配にもなるが、これで進んでいけば市がやろうとしていることが形になるのだと思うので、身体には気を付けてがんばってほしい。

岡川委員 流動的な配置変更について、役職が関わってくるのか。

林教育振興課長 繁忙期、病休、男性育休などに対応するため、教育委員会事務部局の中で事務局長権限で一定期間職員の配属を変更するというもの。昨年度、教育振興課は11月に図書館の職員1名を応援してもらったが、今はその職員は図書館に戻っている。局長を交えて両課で話し合いをしながら決めたが、役職は関係ない。

澤崎教育長 辞令行為をしてやろうと思うと、時間を要して市民に迷惑がかかったりする。今、林課長が申し上げた例だと、昨年教育振興課であったのは、男性育休や病休で、職員3名が急にいなくなるといった状況。そこで、トータル的に教育委員会全体を局長が見渡して、今はこちらに注力してなんとか教育委員会の業務を回そうと、役職名で動かすのではなく、その職員を局長権限で辞令行為も伴わず異動して、表現は安易だが「お助けマン」をその時期やってくださいというのが、局長権限で行う流動的な配置変更で、市民に迷惑がかかったり、業務がストップすることがないようにするもの。

1つ危険なのは、絶対的な課員の労働力の総数が増えているわけではないので、本当に応急的な措置をするための制度。

このことが今まで教育委員会の規則には書いてなかったので、今回の改正の中で書くことにした。課長同士だとそれぞれに言い分もあるため、それを全体的に俯瞰して判断できるのは局長の立場で、教育委員会全体を見渡してそれをやろうということで、主語が局長になっている。

伊東委員 公会堂記念館の副館長の件、他の「館」は、館長の同じような問題はないのか。今立芸術館とか図書館と文化センターとか、所管している類似施設でも副館長はいるのか。

北川図書館長 図書館は、副課長が館長の代理を務める。

澤崎教育長 公民館は、館長がいなくなると、すべて生涯学習・文化財課長が代理を務める。

田中教育委員会理事 いまだて芸術館は、条例上は副館長という職は設定されていない。指定管理で委託しているため、館長に何かあっても、委託先組織の中で誰かが代理を立て指定管理者として執行する。

武道館についても、指定管理施設のため副館長は設定されていない。総合体育館の施設長が体育館と武道館と両方を管理している。

岡川委員 島会館とは何ですか。

齋藤文化財保護室長 昔、今立町時代に、嶋連太郎さんという三秀舎という出版会社を立ち上げた方の、資金援助で建てられた建物で、花筐文庫という今立町立図書館の前身の図書館として使われた建物。コンクリートの部分と木造の部分があり、コンクリートの部分は、

文化財にしてもいいような近代建築様式で建てられたもので、今となっては非常に貴重な建物。地元の方に使っていただいているが、利用頻度が低く、その活用が課題になっている。蓬莱社を行う神社の近くにある。

岡川委員 文化財にはなっていないのか。

斎藤文化財保護室長 今はなっていない。

日程第3 越前市結核対策委員会委員について

【中屋学校教育課長が説明】

(質疑)

坂委員 いろいろな病気がある中で、なぜ結核だけ委員会があるのか。

黒田事務局長 結核は、感染病の中でも感染力の高いものとして位置づけられている。

坂委員 ここは何も結核に限定しなくてもいいのではないか。

澤崎教育長 いわゆる水際対策という、外国からの入国審査のときに感染しているかどうかを確認するものの代表的なものが結核。結核の場合は、例えば、具体的な例で申し上げると、ブラジルから越前市に子供たちが入ってきた場合、就学する前に病院に行って結核検査をしていただく。それは、もし結核に罹患した状態で集団の中に入ってしまうと、一斉に感染が広がる病気なので、感染症法できちんと検査をしてから入国等の許可を下すことになっている。この結核対策委員会も、今の時代、結核等とすべきかもしれないが、法の改正がそこに追いついていないのが現状。

結核委員会の委員長の岩崎先生も丹南健康福祉センターの医師であり、地区の医療の中でパンデミックとか感染が広がらないように、この地区全体を見てくださっており、このような委員会をすべての市町で持っている。

坂委員 結核以外の病気が起こったときもこの委員が集まるのか。

澤崎教育長 そのとおり。

伊東委員 この委員会は定例的に開かれているのか。事案が発生したときに開かれているのか。

中屋学校教育課長 この委員会は臨時の事案があったときのみ開いている。

伊東委員 昨年度開催されたのか。

中屋学校教育課長 開かれていない。

伊東委員 コロナのときもこの委員会を開いたのか。

澤崎教育長 コロナのときはこの委員だけでは不足した。知見がなかったので、もっとたくさんの人に入ってもらった。市町単位で聞く前に、広域的に関係者が集まって会議が開かれた。

日程第4 越前市公民館長の任命について

【武藤生涯学習・文化財課長が説明】

(質疑)なし

日程第5 令和7年3月越前市議会定例会質疑及び一般質問の概要について

【間所教育委員会政策推進幹が説明】

(質疑)

岡川委員 空調設備の導入30万円について、小中学校が26施設あるのに調査費30万円では、1施設あたり1万円の計算になるが、何を調査するのか。

小嶋教育委員会事務局理事 国は、学校体育館の空調設備の整備を進めている。越前市では、これまで学校体育館に空調設備は整備されていない。他の自治体でも空調を整備する前に基礎調査を行っている。いきなり基礎調査を行うのではなく、市としてその基礎調査を行う前の、事前調査ということで、他市の事例を調査していくべきだという判断のもとで、調査に要する視察の旅費や専門的な知見を持っている先生への謝礼を計上したもので、直接的な基礎調査のための費用ではない。

岡川委員 これは実際に進めていく事案なのか。体育館の整備として導入していく方向で動くということで考えていけばよいのか。

小嶋教育委員会事務局理事 防災の視点では、避難生活が長期化した場合の環境改善について多く要望が出されている。学校施設においても、特別教室の空調設備も進めていただかなければならぬため、今後については、特別教室と体育館の空調整備をあわせて進めていく。空調設備を整備していくうえで、国の交付金事業も整備されてきているため、そういう財源を有効に活用しながら進めていきたい。

林教育振興課長 この当初予算は、教育費ではなく総務費で計上されている。学校の方では、保健室や校長室、給食室のほか、学校側からの要望が強い理科室への新設を計画的に行っているところで、こちらはもう少しで終わる予定だが途中。今回は能登半島地震を受けて、防災という観点で整備することから総務部で予算を持っている。ただ、空調が整備されていない避難所のほとんどが学校施設となることから、防災危機管理課と教育振興課が協議をしながら一緒に進めていくことになる。

伊東委員 万博のガスの侵入を防ぐシールを設置したとあるが、シールとはどのようなものか。

澤崎教育長 地下からメタンガスが発生すると想定された場所で、外気との接触場所にいろいろなシールを貼って対策を行ったというもの。

坂委員 万博無料券について意見があるが、越前市の学校側の対策として、保護者から問い合わせ等、何か今の時点で問題はないか。夏休みに行くと混むので、6月に行くとした場合、学校側はそれを認めるのか。学校側から児童生徒、保護者向けに何かお知らせ、注意はしているのか。

澤崎教育長 今、知事が2つ施策を打っている。1つは、学校行事として、遠足や修学旅行で行く場合に、その集団にも補助しましょう、無料で行けるようにしましょうというもの。もう1つは、家族や友人など個人単位で行く人が事前に申し出た場合に、パスコードを使って補助をしましょうというもの。

1つ目について、3月議会のときに市で確認したところ、コースを変更して万博へ修学旅行で行く、新たに行くという学校はなかった。しかし、修学旅行で関西方面に行くコースを設定していた小中学校が3つあって、無料になるなら、旅行会社と保護者の同意が得られた場合に、コースの中に一部組み込むことを検討しますという学校があったが、現段階で行く予定をしている学校はない。今後、もしかしたら、1校行く学校が出てくるかもしれない。

2つ目の施策について、個人的に行く団体について、4月13日のオープニングの日に万博に行くのに、公欠してくれるか学校教育課に市民から問い合わせがあった。県に問い合わせをした結果、欠席扱いで、公欠にはできないという回答だった。各ご家庭の判断になる。

岩坂教育長職務代理者 スポーツクラブは、1種目につき1スポーツクラブなのか。例えば、野球で2つ、3つできるのか。

中屋学校教育課長 モデル事業としては、今年度最終年。令和8年度以降、国の補助等がどうなるか分からぬが、基本的に土日は学校ではなく、すべて地域クラブで活動を展開する。各競技団体1つとしてやっていくが、今後の動きとしては、増えていく可能性はあるとみている。

岩坂教育長職務代理者 クラブに所属しようと思うと、地域の要件はあるのか。

澤崎教育長 地域の要件はない。市をまたいでいるものもある。

岩坂教育長職務代理者 大瀧神社の観光 PR や広報などに活用できるように努めていくとあるが、何か具体的な施策は。

齋藤文化財保護室長 3D撮影は全部終わったので、5月下旬か6月上旬で中間の報告会をしようかと考えている。完全なものができたわけではなく、データ収集が全部終わったという段階だが、現状こういうデータができましたということで、途中だが公開しようと思っている。

令和8年度に報告書ができるが、その後でどのように活用していくかを考えていくということになる。いろんな活用方法があると思うが、3D 計測を民間で実施しているところはあるが、自治体が取り組んだのはおそらく越前市が初めて。これを今後どのように活用するかが、検討課題。大瀧神社は彫刻が非常に素晴らしいので、その彫刻の一部分だけを切り取って、3Dプリンターで出力することも可能になる。グルグルと360度回転することも、建物内の壁をすり抜けて入っていけるような映像も作れるため、上手にPRできるような画像、観光PR的な素材として活用できるよう検討していきたい。

日程第6 各課の事務の報告について

【各課長が説明】

(質疑)

なし

(その他)

日程第7 次期教育委員会定例会の日程について

【林教育振興課長が説明】

日程第8 市町村教育委員会研究協議会の案内について

【嶋川教育振興副課長が説明】

日程第9 その他

【中屋学校教育課長が説明】

【閉会時刻 11：50】

越前市教育委員会会議規則第17条第2項の規定により、上記会議録を承認するために署名する。

教 育 長 澤崎秀之

委 員 岩坂昭宏